



JR東労組仙台

East Japan Railway Workers' Union SENDAI
東日本旅客鉄道労働組合 仙台地方本部

発行者:佐々木克之

編集:情宣部



2023年11月7日 No.27 東北三地本HP

申7号 2023年度年末手当に関する申し入れ

第2回交渉開催【11月7日】

業績が大幅回復

■社会活動が本格的に再開した外的要因は大きい。しかし、いくら社会活動が本格化しても、設備投資をしても、**組合員・社員がいなければ収益はあげられないことは変わらない。**

一人当たりの売上が
コロナ禍前以上

■JR東日本会社の離職問題が深刻化していると認識。大幅に社員数が減少している中で一人ひとりが奮闘している。

社員一人当たりの売上⇒ **4300万円 過去最高!!**

コロナ禍の交渉

■経営側⇒日本一の赤字会社

徹底したコストカット、生産性向上で黒字必須

3期ぶりの
黒字転換を実現

今年度の夏季手当交渉⇒ **「目標に届いていない」**

業績が大幅回復

「コロナ前の水準に及んでいない」

「コロナ前の水準に及ばない」での賃金抑制は認めることはできない!

組合の主張

全てではないが、組合員・社員の実態について述べた。その**現実や声を直視して、現場目線を大切に**して応えるべきであり、**組合員・社員を大切にする経営姿勢を回答で示すべきである!**

会社の主張

期末手当の考え方は主として短期的な業績を踏まえ、様々な要素を勘案する。本業の力を示す**営業利益は1550億円**であり、直近で見ると**東日本大震災の時と同程度**である。これらの状況も踏まえ、様々な要素を勘案して慎重に検討していく必要がある。